

鳥インフルエンザ予防対策を再徹底してください

冬～春は特に要注意！

近隣国の中国を含め世界各地で今も鳥インフルエンザの発生が継続しています。日本でも過去に8例の発生がありましたが、いずれも冬季（1～3月）に集中しています。これから春先にかけては特に徹底して予防対策を行う必要があります。

予防対策は万全ですか！

野鳥の侵入を防ぐため、鶏舎を防鳥ネットで覆い破損箇所は修繕する。

飲用水には水道水を使用し、池や川の水を用いない。

専用の作業着、長靴を用意して、外出時に着用した衣服や靴のまま鶏舎に近づかない。

鶏舎の周囲に毎週消石灰を散布する。（散布量は1㎡あたり1kg）

野生動物の侵入を防ぐため鶏舎周囲の草刈、片付けをおこなう。

餌箱は常に鶏舎内に置く。

鶏舎周囲の清掃に心がけ、餌の飛散を防ぐ。

鶏舎内で作業するときは、入口を開け放しにしない。

部外者は鶏舎には近づけない。

被害は甚大！

万一、本病が少数の鶏を飼っているところで発生した場合も、その周辺農場の卵、鶏肉の出荷が制限され莫大な経済的損失を被ります。宮崎県での発生の際は、3農場で8億円を超える被害が出ました。

消毒方法や対策についてなど、何でもご相談ください

岩手県中央家畜保健衛生所

: 019-688-4111 (FAX 4012)